



“三方よし”の職場づくり



第5回

「職員力」を 「チーム力」に活かす

自治体において目標を達成するためには、職員個々の能力発揮が欠かせない。また、新しい施策の立案・推進にあたっては、広い視野を持ち、自ら考え行動する力をチーム力に活かしていくことが求められている。

私たちの職場、横浜市戸塚消防署では、このような職員のアイデアや能力をチーム力に活かす仕組として、職員プロジェクト事業に力を入れている。一つの例として、幼児期の防火意識向上を目的とした「それゆけ！キッズ消防隊」という火災予防ソング制作プロジェクトが挙げられる。

少子高齢化が進む中、火災件数は減少しているが、住宅火災で高齢者が亡くなるケースが多く、次世代の担い手である子どもたちに、どう防火・防災意識を醸成していくのかが喫緊の課題である。

そこで、音楽に精通した職員に「子どもたちが楽しみながら火災予防を学ぶ音楽ツールができないか」と投げかけたところ、若手職員を交えて火災予防ソング制作プロジェクトがスタートした。

子どもたちが曲を唄うことで保護者など多くの方々にも火災予防意識を持ってもらうことをコンセプトとした。

デモ曲が出来上がったところで、横浜市立保育

園の協力を仰ぎ、保育士や園児に曲を聴いてもらい、実際に活用する立場での意見をいただき、更なるアレンジを加えて曲が完成した。また、園児が楽しく踊ることができるようにと振り付けや、曲をイメージしたイラストを作成し、DVDジャケットやポスターに採用するなど、保育士の皆さんのアイデアや能力が活かされている。

すべて職員の手づくりによるこの事業は、職員個々の能力を十分に引き出しただけでなく、他部署や住民ともタテ・ヨコ・ナナメにつながり、ともに創りあげたことに特徴がある。「職員力」が地域の「チーム力」につながるこの大切さを改めて実感できた。何よりも、職員が楽しみながら事業を進められたことに大きな意義を感じている。

今では、防災イベントや保育園の防災指導などで唄われ、多くの子どもたちがこの曲を楽しんでくれている。プロジェクトに携わった職員の想いとして、この曲を通じて、多くの方々に火災予防意識が高まることを願ってやまない。

・「それゆけ！キッズ消防隊」

<https://www.youtube.com/watch?v=zUOMWpJfAfo>

(横浜市戸塚消防署長／名取正暁)

※本コラムは「自治体改善マネジメント研究会」のメンバーがリレー形式で執筆します。